

# ellipse

[エリプス]

## TOPICS

お茶の水女子大学名誉博士 称号授与記念講演会

「共に生きる—ミリアム・ウェレ博士に聞く」

2008年ノーベル物理学賞受賞者 益川敏英先生講演会

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター  
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人  
お茶の水学術事業会

## REPORT

2010年度お茶の水学術事業会 活動報告

## INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報  
事務局よりお知らせ



▲ミリアム・ウェレ博士

## お茶の水女子大学名誉博士 称号授与記念講演会

# 『共に生きる —ミリアム・ウェレ博士に聞く』

【日時】 2011年2月21日(月) 14時～16時  
 【会場】 お茶の水女子大学 共通講義棟2号館102  
 【主催】 お茶の水女子大学 グローバル協力センター

### お茶の水女子大学名誉博士とは

お茶の水女子大学は平成13年度にお茶の水女子大学名誉博士制度を創設し、第1号を国際政治学者の緒方貞子氏に授与しました。

平成16年4月1日に制定された「国立大学法人お茶の水女子大学名誉博士称号授与規則」では、この称号は、

- 一 学術文化の発展及び国際的文化交流について特に顕著な貢献があり、本学において顕彰することが適当と認められる者
- 二 本学の教育研究の発展に関して、その功績が特に顕著であった者
- 三 社会貢献において多大な業績があり、本学において顕彰することが適当と認められる者

のいずれかに該当する者に授与することができる(第2条)と定められています。

### 第9号お茶の水女子大学名誉博士号授与式

2011年2月21日(平成22年度)、第9号となるお茶の水女子大学名誉博士の称号がミリアム・ウェレ博士(Miriam K.Were Dr.P.H.)に授与されました。

1940年にケニアに生まれたウェレ博士は、まだ女性が教育を受けるのが困難だった時代にアメリカに留学して医学博士号を取得し、長年ケニアを中心としたアフリカ地域における保健医療活動、青少年教育に尽力してこられました。博士が理事長を務めるAfrican Medical and Research Foundation(アフリカ医療研究財団)は、東アフリカで唯一、航空機によって遠隔地の病人の緊急搬送を行うフライングドクターシステムを実践しています。また、HIV/AIDSに対する責任者として継続的な活動をする一方、ウジマ財団の理事長として、ナイロビのスラムであるキベラ地区を中心に、青少年の麻薬依存の予防と更生に力を注いでこられました。これらの功績によって2008年には第1回野口英世アフリカ医学賞を受賞し、現在はその賞金(1億円)を投じてケニアに青少年センターを建設するべく精力的に活動しておられます。

「グローバル社会における平和構築のネットワークの形成」をテーマとしてアジアやアフリカ地域をも視野に入れて女性と子どもの支援に取り組んでいるお茶の水女子大学は、ウェレ博士のこうした業績・社会貢献をたたえ、名誉博士の称号を授与し顕彰しました。

羽入佐和子学長から名誉博士記を手渡されたウェレ博士は、「お茶の水女子大学とケニアそしてアフリカの良き関係の始まりとして、この称号を嬉しく思う」と、感謝と喜びの言葉を述べられました。

### 記念講演会

#### 「MAKING PEACE BUILDING NETWORKS IN A GLOBAL SOCIETY」

授与式に続いて記念講演会が行われました。その概要をご紹介します。



グローバル社会とは、いくつものリングがつながった鎖のようなものです。外れそうな弱いリングは心配ですし、鎖の強度は一番弱い部分を見て確認します。現在その弱い部分とは、残念ながらアフリカです。

アフリカの現状にはいくつかの要因があります。「人類の歴史の中で最も悲劇的なできごとのひとつ」と言われた500年にも及ぶ奴隷貿易の時代がありました。その後やってきた冷戦時代には、2つの勢力に翻弄されるなかで指導者が国民を搾



取するというようなことも起こり、アフリカの人々は長い間「NO」の言えない環境下に置かれたのです。やがて、エリート層の人々から少しずつ自分の考えを主張できるようになりはしましたが、「NO」という手段として、「話し合い」ではなく「銃」を手にしたために紛争が起こりました。実は、今アフリカでは紛争のないところの方が少ないと言ってもいいぐらいの状況です。

けれどもその一方で、CPIA (Centre for Peace Initiative in Africa) やケニアのNPI (Nairobi Peace Initiative) など、平和のための活動も沢山できています。今後の課題は、こうした個々の活動を結びつけて大きな力とし、協働していくことだと思います。グローバル社会の平和ネットワークを構築し、アフリカもその仲間に入れていただきたいと思います。

ウジマ財団の活動を通してスラムも少しずつですが変わりつつあります。私が70歳を過ぎた今でもスラムの子どもたちと関わり続けていることに対して「どうして？」と問う人もいますが、それは子どもたちに変わって欲しいからです。ウジマ財団は、暴力によらないで生きること、自分で考えることを学ぶ場です。若者に自尊心を育てると周りの人々を大切にできるようになります。こうしたパワーを平和の構築に活かしていくためにも、この事業にはパートナーが必要です。

女子の教育機関として130年以上の歴史があり、平和のプログラムをお持ちのお茶の水女子大学には、そのリンクを広げ、ウジマ財団の良きパートナーとして、アフリカと日本の若者をつないでくださることを期待しています。

〈お茶の水女子大学名誉博士〉

授与No.	氏名	授与年度	主な業績
第1号	緒方 貞子	平成14年度	国際協力機構 JICA 理事長。第8代国連難民高等弁務官、国連日本政府代表部公使などを歴任し、国際問題の解決、国際協力に尽力。
第2号	ニュスライン・フォルハルト	平成14年度	マックス・プランク発生生物学研究所遺伝学研究室長。初期胚発生の遺伝的制御に関する発見により1995年ノーベル生理学・医学賞を受賞。
第3号	柳澤 桂子	平成14年度	本学生物学科卒業後、発生学において実験科学者として優れた業績を挙げる。難病を克服し、最先端の科学知識の普及や医療における問題提起に取り組み、人々の啓発に尽力。
第4号	フリーヤ・カラビアス・リジョ	平成16年度	メキシコ国立自治大学教授。途上国の立場から全地球的な環境問題を考え、自然と人間の共生の道を切り開いてきた活動と業績により2004年第12回花の万博記念「コスモス国際賞」を受賞。地球環境の保全と貧困の克服に関する学術的・社会的活動を行う。
第5号	深井 晃子	平成16年度	京都服飾文化研究財団チーフ・キュレーター、理事。本学の旧家政学部被服学科を卒業および大学院を修了。国際的な展覧会の企画、ファッション文化の啓蒙、服飾遺品の収集によって、国際的に著名。
第6号	ワンガリ・マータイ	平成16年度	1977年から「グリーン・ベルト運動」と呼ばれるアフリカでの植樹計画を推進。環境・人権・女性の権利に取り組み、2004年アフリカ女性初のノーベル平和賞を受賞。
第7号	神田 道子	平成17年度	独立法人国立女性教育会館理事長。本学文教育学部を卒業。長年、女性の地位向上に尽力して学術的・社会的活動をおこない、初の東洋大学女性学長となる。
第8号	ピエール=ジル・ドゥジェンヌ	平成18年度	1991年ノーベル物理学賞を受賞。物理学の分野で多くの女性研究者を育成。2007年没。

今日のこの会場のように友好的な雰囲気集い、意見を交換できる社会が、近い将来アフリカにも訪れることを願ってやみません。そのためには平和のネットワークが必要なのです。

## 「共に生きる」ために

第2部「ウエレ博士に聞いてみよう」では、学生や参加者から、平和ネットワークの構築における女性の役割、ウジマ財団の設立・経営・教育の方法等について積極的に質問がだされました。

最後にウエレ博士が「Welcome to Kenya」という歌を歌ってくださいると、参加者は立ち上がって手拍子をし、会場に笑顔が広がりました。

この会の総司会を務められ、ウエレ博士が“ファミリー”と呼ぶ内海成治教授（グローバル協力センター長）は、実際にウジマ財団を訪れたことがあるそうです。ウエレ博士は私財を投じてこの財団を作り、小さな家の質素なオフィスを拠点として活動をなさっているのだと話してくださいました。「また学生と一緒にケニアを訪ね、絆を深めていきたい」という閉会の言葉からは、お茶の水女子大学が「共に生きる」ための新たな一歩を踏み出したことが感じられました。

〈協力〉

お茶の水女子大学グローバル協力センター

お茶の水女子大学人事労務チーム

〈写真提供〉

お茶の水女子大学グローバル協力センター

# 2008年ノーベル物理学賞受賞者 益川敏英先生講演会

- 【日時】 2010年12月20日(月) 10:30～12:00
- 【会場】 徽音堂
- 【対象】 お茶の水女子大学附属小学校5・6年生、附属中学校  
全校生徒、附属高等学校1・2年生と3年生希望者
- 【主催】 お茶の水女子大学学校教育研究部  
お茶の水女子大学附属学校園



## お茶の水女子大学の新たな 教育プロジェクト事業

「附属学校園を活用した新たな学校教育制度設計に係る調査研究—高度専門的研究力を持つ教員養成・現職研修システムの構築と幼小接続期の新学校制度開発—」

2010年度から文部科学省特別経費事業としてスタートしたこのプロジェクトは、教員養成に伝統と実績をもち、5校種(ナースリーを含む)の附属学校園を有するお茶の水女子大学の特徴を活かして、

1. 幼小接続期の在り方についての検討を行うこと
2. 高度な教科・専門諸領域の研究力を持つ大学院生と附属学校園教員を結集し、今日求められている児童生徒の「探究力・活用力」育成のための、新たな教科カリキュラムや指導方法を研究すること
3. 日本の教育力を底上げ出来る「コア・ティーチャー」となる院生の育成と、附属教員はもとより全国の現職教員の研究力向上を図ること

を目的としています。2010年10月には、その拠点として学校

教育研究部が設置されました。(http://www.cf.ocha.ac.jp/sesd/index.html)

この事業の初年度にあたり、学校教育研究部と附属学校園が連携し、附属学校の子どもたちが物事を深く学び探究する経験に触れる機会として、ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英先生をお招きして講演会を開催しました。



### ● 益川敏英先生 略歴

1940年生まれ。名古屋大学大学院理学研究科博士課程終了後、名古屋大学助手、京都大学助手を経て、東京大学原子核研究所助教授、京都大学基礎物理学研究所所長を歴任。ノーベル物理学賞受賞(2008)。京都大学名誉教授(2003)、名古屋大学特別教授(2009)、KMI 素粒子宇宙起源研究機構長。

当日、益川先生は附属小学校で1時間目(8:45～9:25)の理科の授業を参観された後、徽音堂での講演会に臨まれました。

## 第1部 益川敏英先生と 菅本晶夫先生の対談形式の講演会

徽音堂に益川先生が登場すると、会場の約900名の児童・生徒から大きな拍手と歓声が起こりました。

第1部は附属小学校校長の菅本晶夫先生(大学院自然・応用科学系教授)が聞き手となり、益川先生にお話を伺いました。素粒子論がご専門の菅本先生は、かつて京都大学や東京大学原子核研究所で益川先生の薫陶を受けたことがあるそうです。専門的な研究のお話はもちろん、益川先生の子ども時代、ご家族、普段の生活の様子や趣味など、幅広い内容について和やかな雰囲気でお話が弾みました。

ノーベル賞の受賞理由となった研究「CP 対象性の破れの起源の発見」(小林・益川理論)については、高校生向けと小学校高学年向けの2通りの解説とともに、考えに考え抜いた末「やはり分からなかった」という失敗談としての論文を書こうと思っていた時に、お風呂の中でふと解決の糸口がひらめいたというエピソードも披露してくださいました。

益川先生といえば、ノーベル賞受賞時の「大してうれしくない」というコメントも有名ですが、その背景には研究者にとって一番の喜びは、人間にほめられることではなく、自然に「君た



ちの考えていることは正しかったのだよ」と言ってもらえることだという思いがあったそうです。その一方で、ご自身が「日本で最高の物理学者」と尊敬する南部陽一郎先生がノーベル賞を受賞なさったのは何よりも素晴らしいことと、嬉しそうに仰っていたのが印象的でした。

益川先生が今日の道に進むきっかけとなったのは、子どもの頃、銭湯の行き帰りにお父様から、たとえば「日食・月食が毎月起こらないのはどうしてか?」というような、科学に関するお話をいろいろと聞かされたことでした。教科書に載っていないことを知っている自分は理科や算数が得意なのだと思ひこみ、だんだんと好きになっていったのだそうです。子どもは好きなものであればいくらでも夢中になれるので、まず「好き」になることが、とても大切だと話してくださいました。

さらに、個性的な人になるために必要なことについてお聞きしたところ、「懂れるだけではなく、何か始めてみてください。」とのことでした。人間は好奇心や憧れを持つともっと知りたくなり、深く知ると今度はまねをしたくなります。けれども実際にやってみると、現実と自分の想像していたものが必ずしも一致するとは限りません。そういうことを繰り返す中で(益川先生は「ドン・キホーテの時期」という言葉で表現されました)、本当に自分の進むべき道がだんだんと見えてくるのだそうです。

約50分という短い時間でしたが、「長い時間がかかって世界の中の人々が難しいと思っている研究をねじふせた時には“勝っ

た〜!”という楽しさを感じる」、「クラシック音楽を聴くのが趣味だが、クラシックであれば何でも良いというわけではなく、一度書き上げたあと何度も何度も推敲を重ねているような、努力する天才の作品が好き」など、益川先生のお人柄や考え方が垣間見えるようなお話もあり、子どもたちはメモをとりながら熱心に耳を傾けていました。

## 第2部 児童・生徒との質疑応答

第2部は、子どもたちからの質問に益川先生が答えてくださいました。時間が限られており各校数名ずつでしたが、益川先生に直接質問できるチャンスとあって、指名しきれないほど多くの手が挙がりました。

質問内容は、「好きな食べ物」「クリスマスの思い出」「子どもの頃の夢」「睡眠時間」などの身近なことから、「研究をしていてあきらめようと思ったこと」「素粒子の研究で一番苦労をしたこと」「物理の楽しさ」といった研究に関わることまで多岐にわたっていましたが、益川先生はときどき冗談を交えながら1つ1つに丁寧に答えてくださいました。さらにCP対象性の破れやクオークの数についての質問も出され、益川先生が生き生きと専門的な解説をなさる場面もありました。

最後に附属高校の大自然科学部のメンバーが、感謝の気持ちを込めて「クオークの歴史」と題した寸劇を披露すると、益川先生も大変喜んでくださいました。

附属小学校から高校までの児童・生徒がこのように一堂に会して講演を聞くというのは初めての試みだったそうですが、子どもたちはお互いに良い刺激を受けたようです。理系を目指す子どもに限らず、全ての子どもにとって有意義なひと時となったのではないかと思います。

〈協力〉

お茶の水女子大学学校教育研究部

お茶の水女子大学附属学校園



▲ユニークな寸劇を披露した大自然科学部のメンバー



▲講演会を終えて退場する益川先生に駆け寄る子どもたち



# お茶の水女子大学 イベント情報

2011年5月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2011年6月～9月	第14回附属図書館企画展示 「3.11後の夏～あなたは何をしますか?～」	無料	【主催】お茶の水女子大学附属図書館 【会場】図書館1階キャリアカフェ横 【詳細】附属図書館のHPをご覧ください。 <a href="http://www.lib.ocha.ac.jp/tenji/tenji_top.html">http://www.lib.ocha.ac.jp/tenji/tenji_top.html</a> 【お問合せ】E-mail: library@cc.ocha.ac.jp
2011年 5月31日(火) 昼休み 6月22日(水) 昼休み 7月7日(木) 夕方	図書館ミニコンサート ◆5月31日の演奏者: 嶋田七瀬 (芸術・表現行動学科 音楽表現コース4年)	無料	【会場】図書館1階ラウンジ 【詳細】附属図書館のHPをご覧ください。 <a href="http://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html">http://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html</a> 【お問合せ】E-mail: library@cc.ocha.ac.jp ※お申込は不要です。
2011年6月29日(水)	公開講演会 「グローバルリーダーへの道 第4回」 現在、世界自然保護基金(WWF)ジャパンの気候変動プロジェクトリーダーとして活躍されており、また気象予報士(日本気象予報士学会副会長)でもある小西雅子氏をお招きし、仕事やグローバルリーダーをテーマに講演していただきます。	無料	【主催】お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター キャリア支援センター 【会場】お茶の水女子大学共通講義棟2号館201室 【お問合せ・お申込み】 お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター TEL/FAX: 03-5978-5520 E-mail: info-leader@cc.ocha.ac.jp
2011年9月～ 2012年2月 (後期)	公開講座「知の市場」 公開講座ネットワークである知の市場は2011年度に全国30拠点で108科目相当を開講します。お茶の水女子大学における2011年度後期の開講科目は、CT133(新規:化学物質総合経営概論)及びCT551(新規:知的財産権論)、さらにCT114(新規:ハザード評価実践論)を追加する予定です。 (詳細は知の市場HP: <a href="http://www.chinoichiba.org">http://www.chinoichiba.org</a> 参照)	無料	【主催】お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター 【会場】お茶の水女子大学共通講義棟1号館 【募集】後期の受講者募集は2011年7月1日から開始 【受講応募申込み】 ①受講者登録: 知の市場HP・ <a href="http://www.chinoichiba.org">http://www.chinoichiba.org</a> ②科目応募申込: お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター(増田研究室)HP・ <a href="http://www.chinoichiba.org/lwwchp">http://www.chinoichiba.org/lwwchp</a> 【お問合せ】 知の市場お茶大事務局 E-mail: ocha-jim@chinoichiba.org 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 TEL: 03-5978-5018、FAX: 03-5978-5096
2011年12月3日(土) 14:00～16:00(予定)	お茶の水地理学会講演会 ◆講師: 室伏きみ子先生 大学の研究室から生まれた化粧品と産学連携についてお話ししていただく予定です。	無料	【主催】お茶の水地理学会 【会場】お茶の水女子大学本館306 ※参加お申込みの受付は、2011年10月以降となります。

## お茶の水女子大学 学部オープンキャンパス2011 延期のお知らせ

東日本大震災の影響により、今なお強い余震の恐れや原発事故等にもなう安全上の懸念があるため、7月の海の日に予定されていた「学部オープンキャンパス2011」は延期となりました。

今後の開催につきましては、大学ホームページ (<http://www.ocha.ac.jp/>) をご参照ください。

【お問合せ先】お茶の水女子大学 学部オープンキャンパス担当 [広報チーム]

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1-1 Tel: 03-5978-5105 E-mail: info@cc.ocha.ac.jp

## 大好評のお茶大クリアファイルが新しくなりました!!

お茶大カラーのえび茶をベースに、大塚常樹教授が撮影して下さった大学の風景と女学生をイメージした矢絣模様を組み合わせたきれいなクリアファイルです。来校の記念に、同窓会のお土産にいかがでしょうか。

- ◆ 定価: 120円(税込) お茶大生協でも販売する予定です。
- ◆ お茶の水学術事業会からの地方発送も承ります。10枚以上まとめてご購入いただく場合には、特別価格となります。詳しくは、お茶の水学術事業会事務局 (Tel: 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org) までお問合せください。



(裏面)

(表面)

# 2010年度 特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会活動報告

お茶の水学術事業会は、「社会貢献」・「大学との連携」をキーワードとして、様々な活動に取り組んでいます。  
2010年度の主な活動をご報告いたします。



## 1. 特定非営利活動にかかる事業

### (1) 国内学会の企画運営、国際学会等の準備事業

#### 【学会事務代行業務】

アジア政経学会、日本近代文学会、関根賞、表現学会、日本唾液腺学会、日本ソフトウェア科学会、舞踊学会

### (2) 講演等の講師派遣斡旋等事業

#### 【講師派遣】

#### ◆日立市ら・ぽーる協会 講演会

テーマ：「樋口一葉の生涯 ― 時代の中で伝えたかったこと」

講師：菅 聡子氏 開催日：2010年11月13日

#### 【共催講演会】

#### ◆「われは女なりけるものを 樋口一葉 弱者へのそして弱者からのまなざし」

講師：菅 聡子氏 開催日：2010年4月18日

主催：桜蔭会埼玉支部 参加：137名

#### ◆「地理的思考」

講師：外山 滋比古氏 開催日：2010年11月27日

主催：お茶の水地理学会 参加：126名

お茶の水学術事業会では、講演会やセミナーを共催していただける団体を募集しています。（一定の条件があります。）また、ご要望に合わせて講師をご紹介します。詳しくは事務局まで、お問合せください。

### (3) 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業

#### 【協賛】

#### ◆『絵日記による学童疎開 600日の記録展』

主催：平和祈念プロジェクト21

開催期間：2010年8月3日～15日

開催場所：神奈川県立地球市民神奈川プラザ（あーすぷらざ）

#### 【HP作成・管理請負】

- 認定遺伝カウンセラー制度委員会HP
- 遺伝カウンセリング・ジャパンHP

#### 【受託販売】

雅 Grace

### (4) 学術関連等の出版事業

- 『リーダーシップ論第4回「国際性と日本らしさ」』（小倉和夫 国際交流基金理事長）※データ納品
- 学術フォーラムブックレット『生活者の視点に立った学術研究』
- 開発途上国の子どもと母のための絵本 中国語版4巻
- 開発途上国の子どもと母のための絵本 フランス語版5巻

### (5) 女性事業家・起業家育成のためのセミナー、シンポジウムの開催

#### ◆「女性のためのパソコン教室～スキルアップで仕事に強くなる～」

共催：文京区男女協働子育て支援部男女協働・特命担当課

開催日：2010年6月22日、23日、29日、30日

参加：20名

### (6) 機関紙（誌）、教育・研究等に関する啓発書の発行

- 会報「ellipse」第22号～24号
- お茶の水ブックレット7  
『家族と犯罪―近しい者の憎悪はなぜ?』増刷
- お茶の水ブックレット9  
『子どもは変わる・大人も変わる―児童虐待からの再生』発行

## 2. その他事業

#### 【企画販売】

- お茶大クリアファイル製作
- お茶大ゴーフル、クリアファイル、絵はがき等の販売



〈学術関連等の出版事業〉

イベントのご案内や活動報告は、お茶の水学術事業会のHP (<http://www.npo-ochanomizu.org/>) にも掲載しています。雅 Grace・お茶大ゴーフル・お茶の水ブックレット・絵はがき・クリアファイルのご注文は、HPの「ご注文フォーム」（「お茶大関連グッズ」タブ内）からも受け付けております。

# 自分史をつくりませんか？

あなたの歩んできた道を記録する

**本づくり(自費出版)のご案内**

自分史・詩・短歌・俳句・随筆・画集・論文・旅行記・童話ほか  
紀要、写真集なんでもご相談ください。

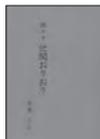
原稿整理から印刷製本までの全てを  
ご予算の範囲内でお手伝いします。お見積りは、無料！  
お気軽にご相談ください。

既刊の作品から



七十年を生きて、今

都立第十高女七回生  
文集をつくる会編



忙閑おりおり

高梨公江著  
(昭和30年中文)

詳しくは、電話またはFAXでお問合せください。

**(有)創英社** 代表 杉内蘭子(昭和28年史)

事務所が  
移転しました

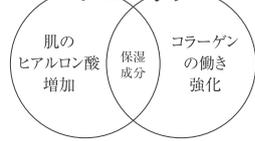
〒164-0012 東京都中野区本町6-20-9  
ミツクニ新中野ビル1F (株)桜企画内  
TEL 03-6454-1946 FAX 03-6454-1948

# ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分cPA(シーピーイー)は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。雅GraceはcPAを配合した世界初のスキンケアです。

**室伏きみ子(お茶の水女子大 教授) 監修**

新成分  
**cPA**  
配合



雅Grace  
グレイス化粧水 150mL

雅Graceグレイス乳液 100mL  
雅Graceグレイス美容液 30mL

※写真は、グレイス化粧水 150mLです。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。  
**雅Grace —グレイス—、誕生。**

販売元: SANSHO株式会社 TEL 03-5203-0716 WEB <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしております。  
詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail: [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org) TEL & FAX : 03-5976-1478



# おいしいパンと暮らそう。

たとえば、新鮮な朝の空気を深呼吸したり、  
庭に咲く小さな花を見つけたり、  
朝食のパンがおいしかったり。  
特別なことじゃなくて、  
そんな、ふとした時に感じる幸せが、  
毎日をちょっと素敵に、  
豊かにしてくれるのだと思います。



# 「米油」で、 もっとおいしく、 もっと健康♪



玄米の新鮮な胚芽と米糠などから生まれました。  
抗酸化物質のビタミンEや米油特有の成分、γオリザノールやトコトリエノールなどが豊富に含まれています。油酔い物質の発生も少なく

# 胸焼けや胃もたれのしにくい油です♪

お問い合わせ先  
(有)はるひ 代表: 印南幸子(昭37音)  
TEL & FAX : 047-373-2254  
E-mail: [info@y-haruhi.jp](mailto:info@y-haruhi.jp)



◆事務局所在地  
東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学  
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線  
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線  
護国寺駅から徒歩8分

都バス  
大塚2丁目バス停すぐ

## 編集後記

「ellipse25号」の編集集中に菅聡子先生ご逝去の報に接し言葉を失いました。お茶大の教授として研究や学生の指導などに心血を注がれるかたわら、講演の依頼を笑顔で引き受け、お茶の水ブックレット8を執筆・監修してくださいました。ブックレット8の表紙のスズランはそんな菅先生とお弟子さんたちのイメージでもあります。あらためて菅先生と巡り会えた幸せを思い、心から感謝を捧げ、ご冥福をお祈りいたします。

### 広告募集

このページに広告を掲載しませんか？ 次号は2011年10月に2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問い合わせください。

## 事務局

**OPEN 月～金 10:00～16:00**  
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204  
TEL & FAX 03-5976-1478 E-mail: [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org)  
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。